

イスラエルのリバイバルを祈る

2010年1月3日 アシェル・イントレーター

30年ほど前、私はエルサレムの神殿の丘にある西壁に行きました。私は伝統的なユダヤ人の服装であるキッパー(かぶり物)、タリット(祈祷用ショール)そしてテフィリン(祈祷書の入った皮製の小箱と革ひもで成る、別名フィラクトリーと呼ばれるもの)を付けて祈っていました。私は霊による執り成しの祈りをするよう促されました。後になって私が冗談を込めて「異言とテフィリン」と言ったことを行いました。

その時私は神殿から水が私の頭に降り注ぐという幻を見ました。それは水の滝ではなく、光の滝でした。その光が私に触れた時、私は霊に捕らえられました。私は突然、エルサレムを取り囲み、リバイバルが起こるのを防ごうと並んでいる悪の霊的な要塞を認識できるようになりました。

ほとんどの悪魔的な要塞は宗教の霊、とりわけイスラム教のジハード、ラビ的ユダヤ教、そしてキリスト教正統派と関連があります。聖霊が私にこのように語っているのを感じました。「これらの霊はあなたにとって強力すぎるものです。もしあなたやすべてのメシアニックジューと一緒に力を使い働かしても、あなたは失敗するでしょう。」

私は主に叫んで解決策を求めました。主がこのように語っているのを感じました。「あなたが唯一成功する方法は、すべての諸国の教会がイスラエルにいるメシアニックジューと共に祈ることです。」現在、神はそのような祈りの兵士たちを世界中の国々で起こされています(そのような理由の一つゆえに、あなたは最新のニュースレターを受け取っているのです。)

イスラエルはみな救われる

私たちは「**イスラエルはみな救われる(ローマ 11:26)**」を信じています。これは終末的な幻だけでなく、日々私たちを導く実践的な計画なのです。ローマ1章から8章までは救いの原則を段階的に説明するもので、自然の創造、モラルに誠実であること、普遍的な罪や信仰そして赦し、代理による贖い、新生、肉の思いとの戦い、そして聖霊による勝利です。

9章から11章まで、シャウル(パウロ)は神が予め定めておられた、ユダヤ人と異邦人がパートナーとなること、イスラエルを救うこと、そしてその二つを一つにして世界の贖いをもたらすというご計画について教えています。残念ながら、多くの人が聖書のこの個所の重要性を見過ごしてしまい、それを主題から離れたパウロの考えと見なし、単に彼の親族たちについて懸念しているにすぎないとしました。しかしそれ以上のものなのです。

ローマ 11:25 に「**異邦人の完成のなる時まで**」について語っています。諸国の教会が完成することが、イスラエルにリバイバルを起こさせるのです。この「完成(訳注: fullness-満ちること)」はギリシャ語

で「プレロマ」といって、この章の中で2回出てきますが、その他の個所ではメシアニックジューのレムナント(訳注:残りの人々)のことを指します。「**彼らの完成は、それ以上の、どんなにかすばらしいものを、もたらすことでしょう。(ローマ 11:12)**」

ここに二つの「完成」があります。一つは諸国の教会であり、もう一つはイスラエルのレムナントです。教会の完成がイスラエルにリバイバルを起こします。イスラエルの完成が死者の復活をもたらします。ローマ 11:15「**彼らの受け入れられることは、死者の中から生き返ることではなくて何でしょう。**」イスラエルと教会の回復は並行しているのです。一方がもう一方に影響を与えるのです。

教会の完成がイスラエルのリバイバルをもたらすのです。イスラエルの完成が死者の復活をもたらすのです。イスラエルと教会が共に二重の回復をすることはイエシュア(イエス)の再臨を、地上に千年王国をもたらすのです。これは深い奥義であり、ダン・ジャスターと私が 20 年ほど前に共著した「イスラエル、教会そして終わりの日々」(訳注:日本語には訳されていません)という本の中心的な主題なのです。

その作業を行う

リバイバルのビジョンを実現させるために、「使徒行伝」で行われた事をするという、私たちが毎日踏むべき実践的なステップがあります。もし私たちが同じことをするならば、同じ結果が得られます。以下、今週のいくつかの例を挙げます。

テレビ:もし全国に届けられるのであれば、マスメディア、とりわけテレビやインターネットを用いるべきです。今週私たちはイスラエルの地方局において分かち合うという重要で新しい機会がありました。どうかこの機会やその他多くの機会についてお祈り下さい。

解放:今週、悪魔的なカルトと関わってきた、ある若いイスラエル人男性「J」が悔い改め、たくさんの悪魔的な用具一式を捨てました。どうか完全な解放、癒しそして回復をお祈り下さい。

若者の指導者:多くのCongregationで若い指導者を育て上げることに失敗しています。私たちは新しい指導者を訓練し、礼拝を任せようと全力を傾けています。どうかエルサレムにある私たちのCongregation(アハヴァット・イエシュア)の今週の礼拝についてお祈り下さい。そこを私たちの若い世代に完全に運営させる予定です。

個人伝道:今週主を受け入れる祈りを行なった「A」と「S」というイスラエル人男女についてお祈り下さい。どうか新しく来た「I」と「S」という二人の若いイスラエル人男性のためにお祈り下さい。二人とも宗教的な家庭で育ち、もうすでに彼らの信仰について分かち合い、他者を励ましているのです。どうか地元の伝道師である「E」、「A」そして「R」が励まされ、癒され、彼らが分かち合うたびに油注ぎを受けるようにお祈り下さい。永続する「実」が誕生するようにお祈り下さい。

世界宣教: 今月、私たちの青年たちの幾人かがロン・キャンター師引率によるアフリカの旅から、そしてストゥ・ウィノグラッド師引率によるインドの旅から帰ってきました。そこでは超自然的な癒しや伝道があり、それらに関わるすべての人の熱心さが刷新されました。

メシアニック・モシャヴ(注)

今年の私たちの活動において最も心躍ることは、エルサレム郊外にあるユダ丘陵地帯にあるメシアニック・モシャヴ(キブツ形式の共同体)であるヤッド・ハシュモナとの協力です。私たちは3つのプロジェクトにおいて彼らとパートナーを組んでおり、それらは聖書の庭、メシアニックジューのためのビジネス産業パーク、そして若いメシアニック一家のための住宅開発です。

注: キブツ: 多くの人が共同生活しながら農業を行う農場。キブツは共有財産だが、モシャヴは家族労働力のみで構成された家族経営の農場を、村落単位の協同組合が緩やかにまとめる形式。さらに、個人資本色のより強い経営形式は「モシャバ」と言う。(Wikipedia「モシャブ」より)

イスラエルでの福音は言葉だけでなく、よい行いと「根拠のある事実」によって支えられなければなりません。ヤッド・ハシュモナはイスラエルのメシアニック共同体における重要な柱であり、シオンの回復への私たちの献身を成就するものであり、地を開拓し、市場に影響をもたらします。どうかこれらのために、私たちの協力、そしてこれらのプロジェクトに投入する必要な高額な資金について、どうかお祈り下さい。